

時代区分	西 暦	年 号	月 日	事 項	
中	室	1555	弘治 1	城より米沢に移る。築川城に晴宗の弟宗清（鉄斎）居城する。 〔伊達左衛門宗清入道伊達郡築川に住す。因って築川氏を称す。（世次考より）〕 晴宗、左京大夫となり奥州探題となる。 ○八幡宮を伊達66郷惣社とする。	
	町	1565	永祿 8	6月19日 積宗丸森城にて卒。（78才）	
		1567	〃 10	輝宗、亀岡八幡を西山より築川に移す。	
世	安	1576	天正 4	晴宗、天神社を現在地に奉遷する。（社伝）	
		1582	〃 10	伊達政宗築川城に逗留し（3日間）八幡宮に参詣する。	
		1584	〃 12	〃 （十七代）家督を相続し米沢城主となる。（18才）	
		1585	〃 13	伊達輝宗 畠山義次にとらえられ共に政宗の銃撃に死ぬ。	
		1586	〃 14	伊達政宗戦勝祈願として築川八幡に流鏑馬を安堵す。	
		1588	〃 16	〔5月19日 政宗築川八幡に御かぶと、御くそく、御たち、御さしそへ、良覚院栄真御使にて上御申候 5月20日 築川より参候馬二疋めさせられ候 5月21日 夜入御ひかしへ御出候、其後鉄斎へ御飯被進候 （以上伊達天正日記より）	
	近	桃	1591	〃 19	政宗、豊臣秀吉にくだり、伊達・信夫は会津の蒲生氏郷73万石の領地となる。
			1594	文祿 3	秀吉の文祿検地に信達・会津の農民一揆起こる
			1598	慶長 3	築川、上杉氏の領地となる。 4月、上杉景勝の臣、信州海津城主須田大炊介長義、築川城代となる。（秩式万石外3千3百石同心給分） 〔福島、築川ハ伊達政宗を押る枢要ノ地に依而 本庄、須田両豪家其撰ニ当るもの歟……上杉文書 紹襲録卷5〕
		山	1600	〃 5	上杉氏の臣築川村堀江与五右衛門、保原村渡辺新左衛門、砂子堰開さくする。 関ヶ原の戦。伊達政宗上杉領に浸入し築川城主須田長義を攻めるも敗走する。（松川の合戦）
世	江	1601	〃 6	伊達政宗、仙台城に移る。 8月、須田長義上杉家米沢移封の節6千6百6拾6石6666に減ぜられる。	
		1602	〃 7	須田長義、興国寺をおこす。 築川八幡、輪王寺、他諸社寺仙台に移される。	
	戸	1604	〃 9	砂子堰開通する。	
		1610	〃 15	このころ、築川村人口802、戸数181。	
		1613	〃 18	上杉検地 一揆起こる。	